

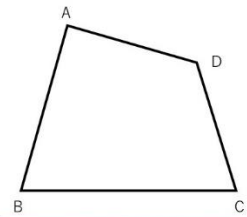
【小学校】第5学年・算数「図形の角（平面図形の性質）」

ねらい：三角形の3つの角の大きさの和や分度器の利用等の既習事項を使い、四角形の4つの角の和について筋道を立てて考え、説明することができる。

活用のポイント

- ・家庭学習を授業で生かしたり、授業で考えたことを家庭学習に返したりできる。そのために、ワークシート（紙面）かデジタル教科書のいずれかを選択し、自分の考えをもつ。
- ・共有フォルダを使うことで提出状況や児童同士の考えの共有、友達の考えの活用が容易になる。

機能：作図、書き込み、保存、共有（Google ドライブ等）、学習支援アプリで配信（Google Classroom、Teams 等）



問題：四角形の4つの角の大きさの和は、何度になりますか。

■学習活動例（太字がデジタル教科書の主な活用場面）

ねらい・期待される効果等

	活動内容	学習者用デジタル教科書の活用例等
事前準備（前時・家庭学習等）	個別 個人の考えをもつ 問題を解く。 デジタル教科書を使い、すれなく頂点から直線を引くことができる。（児童） 課題をデータで提出する。	ワークシートかデジタル教科書のいずれかを選択し求め方を書く。 デジタル教科書の場合はスクリーンショットで、ワークシートの場合は写真を撮り保存する。 伝えたい求め方を1つ選び、データ（デジタル教科書のスクリーンショット、ワークシートの写真：以下同様）で提出する。
準備	既習事項を生かし、試行錯誤しながら問題に取り組み、複数の考えを保存できる。（児童） （教師）・考えの同じ者同士のグループ①（A, B, C, D, …）を編成する。 ・考えの異なる者同士のグループ②（a, b, c, d, …）を編成する。 ・課題のデータを学級の児童が閲覧できるようにフォルダを共有化する。	
導入	グループ① 考えの共有話合い 課題：四角形の4つの角の大きさの和は何度になるか考えよう 1 グループ①内で考えを互いに理解する。 2 異なる考えをもつ友達に筋道を立てて説明できるようにする。 必要感をもって考えを説明したり、選択したりできる。（児童）	データを見せながら自分の考えを説明する。 A グループ B グループ C グループ D グループ 別のグループに伝える考えを決め、説明のためのデータを選び加筆する。
展開	グループ② 考えの説明話合い 3 グループ②内で考えを説明する。 デジタル教科書やワークシートを使って具体的に説明できる。（児童）	説明に使うデータを共有フォルダに入れる。 データを見せながら、求め方について筋道を立てて説明をする。 a グループ b グループ c グループ
まとめ	個別 振り返り 一斉 振り返り 4 学習課題についてまとめる。 5 どの説明がよく分かったか発表する。	筋道を立てて考えるよさに気付いたり、考え方のよさを実感できたりする。（児童）
家庭学習	個別 個人の考えをもつ 五角形、六角形の角の大きさの和について考える。	共有フォルダのデータを利用して、既習を基に、デジタル教科書やワークシートを使って五角形と六角形について自分の考えをもつ。
授業で扱った自分や友達の考えを既習事項として活用し、新しい問題に取り組むことができる。（児童）		